

函大有斗、函工 代表決定戦へ



〔八雲―函大有斗〕五回函大有斗2死一、二塁、6番鈴木日向選手が適時三塁打を放つ(西村昌晃撮影)

秋の高校野球予選

函館支部

第5日の16日、函館オーシャンスタジアムでAブロック準決勝2試合を行った。函大有斗は八雲に9-0で七回コールド勝ちした。函工は延長十二回の熱

戦の末、6-4で知内に逆転勝ちした。(西本紗保美)

▽Aブロック準決勝

八雲 0000000000
函大有斗 0010044X90

(七回コールドゲーム)

△松本 井筒、北村、北村、久保

(有)村田、佐藤、新出

▽三塁打 鈴木、坂本、相場(有)

▽二塁打 松尾、西田(有)

函大有斗は1点リードの

◇函館支部(函館オーシャンスタジアム)

△Aブロック

斗北	5-0
有稜	18-2
函南	9-0
大野	5-4
大谷	6-3
雲差	10-0
工飯	6-4
内北	10-0

△Bブロック

館柏	10-3
稜国	33-0
部専	17日10:00
商水	12-0
水ル	18日12:30
函函	4-2
函函	17日12:30
函函	2-1

五回無死三塁、相場颯選手の犠飛で加點。その後2死一、二塁から鈴木日向選手が右越え三塁打を放ち、続く松尾泰輝選手の左越え二塁打でこの回計4点を追加、流れを決定づけた。八雲は計5安打を放つも、好機を生かし切れなかった。

知 函 内 0000000000
0002 101000101
0003001000 4 6

(延長十二回)

(工)関東、工藤、上原
(知)川内谷、森、森、村上
▽三塁打 小山内(有)
▽二塁打 花坂(工)川内谷、田村(知)

函工が試合時間2時間49分に及ぶ延長戦を制した。1点を追う九回無死二塁、小山内雅人選手の中前打で同点に追いつき、試合を振り出しに戻した。延長十二

回1死一、三塁、花坂佳祐選手が左越え適時二塁打を放ち、勝ち越した。知内は序盤のリードを守りきれなかった。

▼九回からの継投実らず

知内の森歩投手(2年)写真IIは同点に追い付かれた九回1死満塁から継投。中飛と、連携が光るけん制でピンチを脱したが、

十二回で逆転を許し「気持ち

ちでは絶対負けないと思っていたのに」と肩を落とした。



九回途中まで捕手で出場。エースの川内谷伶泰投手(2年)から「頼むぞ」とマウンドを託された。十二回、2点適時二塁打を浴び「次で取り返せばいいと切り替えた」。だが、反撃の機会は訪れなかった。「もう一度マウンドに立ち、今度は抑えたい」。悔しさをにじませながら、春へ向けて決意を新たにしました。